

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ウロコクリーナー (US-101)
会社名 株式会社ビアンコジャパン
住所 京都市南区吉祥院長田町 47 番地
担当部門 営業企画
電話番号 075-693-5531 FAX 番号 075-693-5522
緊急連絡先 同上
整理番号 No.99-191

2. 危険有害性の要約

GHS分類に該当しない

注意喚起語 なし (今後の調査により追加される場合があります)

危険有害性情報 なし (今後の調査により追加される場合があります)

注意書き

【取扱注意】 取扱い中は、適切な保護具を着用すること。

熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。

取扱い後は、手をよく洗うこと。

製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出は避けること。

【応急処置】 眼に入った場合、直ちに清浄な流水で 15 分間以上洗顔すること。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てをうけること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

【保管】 火気を避け、管理可能な場所に保管。

【廃棄】 大量の場合、内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : -

主な成分及び含有量 : 乳酸 30%未満

その他有機酸 (食品添加物) 3% (クエン酸・コハク酸)

官報公示整理番号 : (2)-1369 (乳酸)

CAS No. : 79-33-4 (L-乳酸)

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水で洗い流した後、石けんでよく洗う。付着した衣服類は、洗い落としてから着用する。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で 15 分以上洗眼した後、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに多量の水を飲ませ吐き出させ、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、泡など
- 火災時の特定有害危険性 : 火災時には、不完全燃焼による一酸化炭素などの有毒なガスを生じる恐れ。
- 特定の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。
- 消火を行うものの保護 : 消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には必ず保護具（耐酸性保護手袋、保護眼鏡など）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流さないよう留意する。
- 除去方法 : 少量の場合は拭き取り廃棄する。
水洗する場合には、適切な排水処理を行う。
多量の場合は掃き取り蓋付の容器に入れ、適切な排水処理を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 眼、皮膚との接触の恐れがある場合には適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : 作業終了後は身体、手、口、目、顔などをよく洗う。
衣服等に付着した場合は脱ぎ捨て、よく洗ってから着用する。
漏れ、飛散しないようにすること。
- 安全取扱注意事項 : 皮膚、目などの接触を避ける。
耐酸性手袋、耐酸性前掛け、保護眼鏡（ゴーグル等）などの保護具を着用して作業する。

保管

- 適切な保管条件 : 適当な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保存する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 日本産業衛生学会(2009年版) 記載されていない ACGIH(TLV)(1999年版) 記載されていない
設備対策	: 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。 作業する場所に上記設備が設けられない場合は、作業する場所近くにポリ缶或いは洗眼ビンを用意する。
保護具	
手の保護具	: 耐酸性手袋
目の保護具	: ゴーグル等
皮膚及び身体の保護具	: 耐酸性前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
外観	: 無色～淡黄色の澄明な液体。
臭い	: 特異な臭気
比重	: 1.060 (20)
溶解性	: 水、エタノール等とは任意の割合で混和。
その他、物理的及び化学的データなし	

10. 安定性及び反応性

(乳酸として)	
安定性	: 通常条件では安定。
反応性	: 濃アルカリとは激しく反応し、発熱する。 塩素系漂白剤と反応し、有害な塩素ガスを発生するので接触させない。
避けるべき条件	: アルカリ(塩基) 塩素系漂白剤と接触させない。
避けるべき材料	: 鉄材、アルミ材等の金属。

11. 有害性情報

(乳酸として)	
刺激性	: 500mg / 24H ; Severe (rabbit dermal) : 750 µ g ; Severe (rabbit eyes)
急性毒性(LD50)	: 4875mg / kg (mouse oral) 3730mg / kg (rat oral) 500mg / kg (rabbit oral) 1810mg / kg (guinea pig oral) 4500mg / kg (hypodermic injection mouse)

12. 環境影響情報

残留性/分解性 : 知見なし。

13. 廃棄上の注意

: 法の規定を守って処理を行う。

原液を廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に委託するか、20倍以上の水で希釈し、各都道府県の排水基準等、法の規定を守って処理を行う。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報 : 規制なし（非危険物）

海上規制情報 : 規制なし（非危険物）

航空規制情報 : 規制なし（非危険物）

国連番号 : 非該当

国連分類 : 非該当

品名 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

輸送の特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れが無い事を確認する。
転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
直射日光を避け、水漏れ、高温・高湿下に曝さない。

15. 適用法令

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化学物質管理促進法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

海洋汚染防止法 : 有害液体物質 Z類物質（乳酸）

16. その他の情報

第8版食品添加物公定書解説書（廣川書店）

化学大辞典（共立出版）

新化学インデックス（2000年版）（化学工業日報社）

他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合は、この点にご配慮をお願いします。